

教科目名 日本語表現法 (Japanese Expression)

学科名・学年 : 全学科 4年 (教育プログラム 第1学年 ◎科目)

単位数など : 必修 1単位 (後期1コマ, 授業時間 23.25時間)

担当教員 : 山田繁伸

| 授業の概要 | | |
|---|--|-------------------------|
| 文学的な文章と実用的な文章とを区別する。本授業は、実用的な文章の書き方を学ぶ。書き方の基本ルールを学び、適切かつ効果的に表現できるようになる。日本語表現力の養成を目指し、伝え合う力を高めるとともに、思考力・発想力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現しようとする態度を育てる。 | | |
| 達成目標と評価方法 | | 大分高専目標(C1), JABEE 目標(f) |
| (1) 目的や場に応じて適切な題材を選び、自分の考えをまとめて、表現することができる。(定期試験と課題) | | |
| (2) 主題や論旨が明確になるように構成を工夫して書くことができる。(定期試験と課題) | | |
| (3) 対象を的確に表す語句を文脈に即して効果的に使用することができる。(定期試験と課題) | | |
| (4) 事実と意見、説明と描写の区別などに注意し、筋道を立てて表現することができる。(定期試験と課題) | | |
| 回 | 授 業 項 目 | 理 解 度 の 自 己 点 検 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 1 | 要約文を書く | 【理解の度合い】 |
| 2 | 履歴書を書く | |
| 3 | 自己PR文を書く | |
| 4 | 就職・進学の志望動機を書く | |
| 5 | 入社・進学後の抱負を書く | |
| 6 | 礼状を書く | |
| 7 | 主題の設定、題材の収集と選択 | |
| 8 | 後期中間試験 | 【試験の点数】 点 |
| 9 | 後期中間試験の解答と解説 | 【理解の度合い】 |
| 10 | 文章の構成、段落の工夫 | |
| 11 | 表現の工夫1 | |
| 12 | 表現の工夫2 | |
| 13 | 表現の工夫3 | |
| 14 | 表現の工夫4 敬語の使い方 | |
| 15 | 後期期末試験 | 【試験の点数】 点 |
| | 後期期末試験の解答と解説 | |
| 履修上の注意 | プリントを綴じる A4 版のファイルを各自で準備し、配布されたプリントは必ずファイルに綴じておくこと。 | 【総合達成度】 |
| 教科書 | 授業中に配布するプリント | |
| 参考図書 | 『記者ハンドブック 新聞用字用語集 第12版』共同通信社 | |
| 自学上の注意 | 新聞の社説やコラム、あるいは科学・文化欄の記事などを読むように心がけること。 | |
| 関連科目 | 現代文、地域日本文学、卒業研究 | |
| 総合評価 | 2回の定期試験の平均点で総合評価する。総合評価が60点以上を合格とする。再試験は、総合評価が60点に満たない者に対して実施する。受験資格は、配布プリントを綴じている者に与える。 | 【総合評価】 点 |